

### 【基本目標3】地方との連携を推進し、区の魅力と活力を高め発信する

千代田区は、江戸開府以来、日本の政治・経済・文化の中心地として発展してきており、多種多様な魅力ある資源に満ちあふれた地域である。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機として、区の魅力を広く内外に効果的に発信することが求められている。

そのため、区民と共に区の魅力をあらためて調査発掘し、創造し、磨き上げ、広く発信することで、区民が千代田区に誇りを持つとともに、多くの人々が訪れる、賑わいのあるまちをめざす。

また、区は、エネルギーや食料など、経済活動、生活全般にわたって地方に支えられて成り立っていることも認識しなければならない。

地方との連携を推進し、さらに、中小企業や商工業の活性化を支援することにより、区の活力を高めていく。

#### <基本的方向>

- 区民と共に区の魅力を高めることにより、区民が誇りを持ち、多くの人々が訪れる、賑わいのあるまちにする。
- 農商工連携や防災、環境、商工観光、姉妹都市交流などの分野で、自治体間の連携事業等を展開し、地方との共生をめざす。
- 中小企業の経営安定化への支援や起業支援を行うとともに、商工業の活性化に向けた自主的な取組みを支援することにより、地域の活力を高める。
- 区の持つ豊かな歴史や文化資源、文化・芸術活動について、誰もが気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組む。

## <具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）>

### （ア）千代田区の魅力を効果的に発信するとともに、地方との連携により、区内地域の活力を高める

#### ①区の魅力向上と効果的な情報発信

区の魅力を区民と共に、あらためて調査発掘し、創造し、磨き上げ、効果的な情報発信を展開する。

- 区民と共に区の魅力をあらためて調査発掘し、創造し、磨き上げ、区の魅力を広く内外に積極的に発信する。
- 区内に設置されている各種案内表示等のサインを「風格あるまち千代田」にふさわしい統一感あるものに変更する。
- 標柱・説明板等の文化財標識類やガイドマップについて、デザインや表記に統一性を持たせるとともに、多言語表記やICT技術の活用により、わかりやすいものに更新する。
- 日本政府観光局（JNTO）認定外国人観光案内所との定期的な情報交換などの連携を強化するとともに、民間団体等が運営または運営を予定している観光案内所を支援する。
- 様々なイベント等を通じて区の魅力を内外に発信するなどの取組みを側面から支援するため、観光協会の運営補助を行う。
- 訪日外国人へのインターネットアクセスを提供するとともに、利用者に観光情報HPを表示することで、区の魅力を効果的に発信する。

#### ■具体的な事業

- ・千代田区シティプロモーションの推進
- ・千代田区サイン計画に基づく事業推進
- ・文化資源の「見える化」の推進
- ・観光支援事業
- ・観光協会運営補助
- ・Wi-Fi環境整備の推進

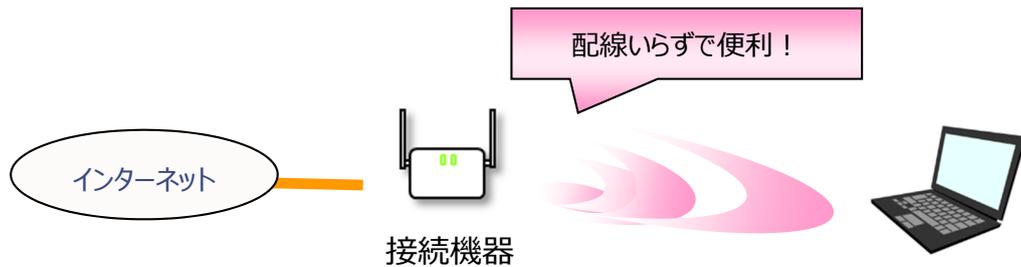
重要業績指標(KPI)	目標値	現状値
千代田区への定住意向がある人の割合	88%	87%
外国人観光案内所の利用者数	110,000人	50,238人

## Topic 1

### 《Wi-Fi 環境整備の取組み》

#### ◎Wi-Fi とは

「Wi-Fi」はケーブルがなくてもインターネットに接続することができる無線 LAN の規格の 1 つであり、Wi-Fi を利用すると半径数 10 メートルから最大 100m 程度の限られたエリアにおいてデータ通信を行うことができる。



#### ◎Wi-Fi 環境整備の必要性

観光庁が 2011 年に実施した調査によると、「外国人旅行者が旅行中に困ったこと」の第 1 位は無料公衆無線 LAN 環境 (36.7%) となっており、訪日外国人にとって旅行先でのインターネット環境整備は欠かせないものとなっている。

また、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に外国人観光客が飛躍的に増加することが見込まれている。

区内観光スポットや主要駅周辺に Wi-Fi 環境を整備することより、外国人観光客へのおもてなし (インターネット環境の提供等) ができることに加え、利用者がインターネットに接続した際に区の観光情報 HP を表示することで、区の魅力を効果的に発信し、区内観光スポット等の回遊を促進することができる。

#### ◎CHIYODA Free Wi-Fi について

##### 1 サービス名称

CHIYODA Free Wi-Fi

##### 2 サービス提供開始日

平成 27 年 12 月 22 日から順次拡大予定

##### 3 サービスの概要

- ・ 1 回の接続時間は 20 分、1 日の接続回数は制限なし
- ・ ポータルサイト及び認証画面は多言語対応  
(日本語、英語、中国語簡体、中国語繁体、韓国語)
- ・ 災害時におけるインターネット開放機能あり



## ②地方との連携

農商工連携や防災、環境、商工観光、姉妹都市交流などの分野で、NPOなど民間主導や自治体間連携により、地方との連携を展開する。

- 姉妹提携をしている自治体との交流事業を推進する。
- 姉妹提携の趣旨である住民主体の交流をより一層推進し、もって活力あるまちづくりを推進するため、区内地域団体等が主催して実施する交流事業に対して、経費の一部を助成する。
- 区の集客力・情報発信力を活かし、「場」の提供を求める地方都市との連携を深め、PR活動への支援を行う。
- ちよだフードバレーネットワークが主体となって実施する地方の特産品等を販売する物産展やアンテナショップの開設を支援する。
- 地方の自治体職員が東京に出張した時などの情報収集、活動拠点である「市町村サテライトオフィス東京」の運営を支援する。
- 地方の森林整備を協同で実施し、森林整備で得られるCO<sub>2</sub>吸収量を千代田区内から排出されるCO<sub>2</sub>排出量の一部と相殺（カーボン・オフセット）する。
- 地方との連携事業について、現在行っている連携事業や他自治体の取組事例の調査研究を行い、今後の区と他自治体間の新たな連携事業の検討を行う。
- 特別区長会が展開する「特別区全国連携プロジェクト」において、全国の各地域と産業、観光、文化、スポーツなど様々な分野での新たな連携を模索し、各地域経済の活性化や、まちの元気につながる取組みを実施する。
- 災害時における相互援助協定に基づき、災害時における相互援助のもと、物資の提供や人的支援を行う。

### ■具体的な事業

- ・姉妹都市交流の推進
- ・住民交流助成
- ・商店街・町会・観光協会による連携  
（例：さくらまつり、神田小川町雪だるまフェア、神田夕やけ市）
- ・ちよだフードバレーネットワークによる農商工連携
- ・ちよだプラットフォームスクエアによる連携
- ・地方との連携による森林整備（カーボン・オフセット）事業
- ・地方との連携のあり方検討
- ・特別区全国連携プロジェクト
- ・災害時における相互援助協定

重要業績指標(KPI)	目標値	現状値
地方と連携したマルシェ・出店等の区が関与した事業数	28事業	18事業

## Topic 2

### 〈主な連携事例〉

#### ◎姉妹都市交流の推進

区は、姉妹提携をしている群馬県嬭恋村と秋田県五城目町との交流事業を積極的に推進している。

##### ちよだ・つま恋の森づくり植樹ツアー

区民が嬭恋村を訪れ、地元の方々と交流しながら植樹を行う。

##### 児童交流事業

区と五城目町の児童がお互いの地を行き来し、行動を共にしながら交流を図る。



#### ◎地方との連携による森林整備（カーボン・オフセット）事業

区は、平成24年度から、地球環境を守り低炭素社会の実現を図るため、地方都市と相互に連携・協力して森林整備事業を行っている。

地方都市の森林保全や雇用創出に寄与するとともに、森林保全による国内全体の温暖化対策に貢献し、区民の自然保護意識や環境負荷低減意識の普及啓発に努めている。

##### ちよだ・たかやまの森づくり

平成22年から交流が始まった岐阜県高山市とは、平成24年6月に10年間の森林整備事業協定を締結した。

協定に基づき、2022年までの10年間で、高山市の市有林約100haを間伐作業等により整備する。\*

この森林整備で育成された森林のCO<sub>2</sub>吸収量の増加分について、岐阜県の制度で認証を受け、区の排出量と相殺（カーボン・オフセット）する。

※間伐を行うと、木々がよく成長するようになるため、その分、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）をより吸収し、温暖化防止に繋がると言われている。



### ◎ちよだフードバレーネットワークによる農商工連携

ちよだフードバレーネットワークが主体となって実施する地方の特産品等を販売する物産展やアンテナショップの開設を支援する。

#### ちよだフードバレーネットワーク

官民連携によって生産地と消費地が協力し合い、互いの地域の産業振興を図ることを目的に、富士宮市、帯広市、釜石市、さらに「市町村サテライトオフィス東京※」に登録している自治体等に連携を呼びかけ、食をはじめとする地域の資源を生かした情報発信や交流を展開する。

※「市町村サテライトオフィス」は、他の地方自治体（市町村）が、東京で活動する際の拠点として活用できるよう提供しており、（公財）まちみらい千代田が運営している。



### ◎特別区全国連携プロジェクト

我が国は人口減少社会を迎え、地域の崩壊や経済の衰退などが懸念されている中、東京を含む各地域が強い信頼関係のもと、いきいきとしたまちづくりを進め、ともに発展・成長しながら共存共栄を図っていくことが必要となっている。

特別区（東京 23 区）は、全国の各地域と産業、観光、文化、スポーツなど様々な分野での新たな連携を模索し、東京を含めた各地域の経済の活性化、まちの元気につながるような取組みを展開している。

平成 27 年 6 月に「特別区全国連携プロジェクト」専用ホームページが開設され、特別区と全国の市町村が連携するイベントや事業、各自治体の最新状況を紹介しており、当区も今後これらのツールを活用し、全国自治体との連携を図っていく。



## (イ) 中小企業や商工業の活性化を支援する

### ①中小企業への支援

ビジネス集積の魅力を活かし、多様な支援を行うことで、起業をめざす事業者を呼びこみ、地域経済の活性化を図る。

また、産業財産権の取得など、新たなビジネス展開を支援するとともに、国設置の「東京都よろず支援拠点」（東京商工会議所）などのワンストップ窓口との連携を強化する。

- 中小企業者の経営安定化を支援するため、区内中小企業者が低利で融資を受けられるよう、指定金融機関へあつせんし、利子の補給や信用保証料の補助を行う。
- 産業財産権（各法令で定める特許権・実用新案権・意匠権・商標権）の取得に係る経費の一部を補助し、区内産業の活性化、事業創出等を支援する。
- 中小企業者が、日頃、事業経営で抱えている諸問題に対して、専門の中小企業診断士による適切な指導・アドバイスをを行い、中小企業者の経営安定化を支援する。
- 区内で起業をめざす事業者に対し、金融機関をはじめとする創業支援事業者と連携して、起業前から起業後まで一貫して支援する。

### ■具体的な事業

- ・商工融資あつせん制度
- ・産業財産権取得支援事業
- ・経営相談

重要業績指標(KPI)	目標値	現状値
中小企業の卸売業・小売業の年間商品販売額（平成23年1年間を100とする）	107	—
融資実行額	80億円	35.5億円
産業財産権取得申請件数	20件	10件
経営相談・診断件数	1,600件	970件

## ②商工業活性化への支援

活気と賑わいの醸成に向けて努力する商工関係団体を積極的に応援し、集客力や組織強化に向けた自主的な取組みを支援する。

また、区民の消費生活を支援するとともに、区内での消費を促す経済対策として、新たな支援策を検討する。

- 商工業の発展、活性化や地域の賑わいを創出するため、商店街や業種別団体など区内商工関係団体等が主体的に行うイベント事業や、IT・顧客利便機能の強化、外国人受け入れ環境整備などの活性化事業等を支援する。また、商店街組織の法人化を支援する。
- 区内商店会が所有・管理している商店街装飾灯の維持管理に要した経費（電気料金）に対して、補助金を交付する。
- 電子マネーの仕組み等を活用して商店街振興や消費生活を支える新たな仕組みについて、民間ベースによる基盤整備の推移を踏まえ検討する。

### ■具体的な事業

- ・商工関係団体等支援事業
- ・商店街装飾灯支援
- ・消費生活支援事業

重要業績指標(KPI)	目標値	現状値
【再掲】中小企業の卸売業・小売業の年間商品販売額 (平成23年1年間を100とする)	107	—

## (ウ) 豊かな歴史や文化資源、文化芸術を気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組む

### ①文化芸術鑑賞の振興と文化資源の見える化の展開

文化芸術活動の成果を発表、交流する場を拡充するとともに、豊かな歴史・文化資源に触れ、気軽に文化芸術を鑑賞できる機会を設ける。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を控え、外国人を含む観光客が今後増えることが想定されることから、標柱・説明板等の文化財標識類やガイドマップについて、デザインや表記に統一性を持たせるとともに、多言語表記やICT技術の活用により、わかりやすいものに更新する。

- 区の持つ文化的・歴史的な魅力をアピールするとともに、文学の担い手として新たな才能を発掘するため、「ちよだ文学賞」「ちよだジュニア文学賞」を実施する。
- 国内外のアーティストに一定期間千代田区に滞在してもらい、地域住民や学生とのワークショップ、共同制作等の活動交流などを通じて、区民が芸術に触れる機会を提供する。
- 障害のある人の作品展示と文化芸術の創作活動を楽しめるワークショップ等を実施する。
- 伝統芸能への理解を深めるため、伝統芸能に触れる機会を提供する。
- 区民の演奏とプロの音楽家とのコラボレーションによる音楽会等の開催や公共施設等のオープンスペースを利活用した区民参加型の音楽イベント等を通じ、区民が身近に音楽に触れる機会を提供する。
- 商店街やアート系専門学校と協力・連携し、まちの至る所で文化芸術と触れ合える機会を提供する。
- 9月から11月までの3か月を、「文化芸術の秋フェスティバル」期間と位置づけ、文化芸術活動の成果を発表し、区民等が交流する場を創出する。
- 芸術文化や伝統芸能などの維持、継続、発展を図るとともに区民の文化活動を促進するため、区内で活動する文化団体が自主的・自発的に提案する文化事業（但し定例的なものを除く）に対して補助する。
- 千代田区ミュージアム連絡会加盟館25館と連携し、区内に存在する文化財や各館の収蔵資料、バックヤードの公開等、各館の特徴を生かした千代田ディスカバリーミュージアムを実施する。
- 標柱・説明板等の文化財標識類やガイドマップについて、デザインや表記に統一性を持たせるとともに、多言語表記やICT技術の活用により、わかりやすいものに更新する。【再掲】

## ■具体的な事業

- ・ちよだ文学賞
- ・アーティスト・イン・レジデンス
- ・障害者アート支援事業
- ・伝統芸能鑑賞事業
- ・各種コンサート開催（ちよだシーズンコンサート、昼休みコンサート等）
- ・まちかどアートの推進
- ・文化芸術の秋フェスティバル
- ・文化事業助成
- ・千代田ディスカバリーミュージアム（千代田区ミュージアム連絡会）
- ・文化資源の「見える化」の推進【再掲】

重要業績指標(KPI)	目標値	現状値
文化芸術事業の参加者数	32,000人	18,000人
標柱・説明板の更新率	100%	0%

## ②区立図書館サービスの充実

区立図書館5館の特色に応じた蔵書構築を行うとともに、区内の大学図書館、古書店、新刊書店やミュージアムと連携を図り、図書館サービスの充実を図る。

- 充実した読書環境の提供、区内大学、書店、古書店、博物館、美術館などの文化施設と連携した事業の実施により魅力あふれる図書館サービスを提供する。
- 日比谷図書文化館において、区の収蔵資料や他の博物館資料を活用しながら、区にまつわる歴史・文化に関する展示を開催する。
- 千代田区ミュージアム連絡会加盟館25館と連携し、区内に存在する文化財や各館の収蔵資料、バックヤードの公開等、各館の特徴を生かした千代田ディスカバリーミュージアムを実施する。【再掲】

## ■具体的な事業

- ・図書館事業運営
- ・日比谷図書文化館展示
- ・千代田ディスカバリーミュージアム（千代田区ミュージアム連絡会）【再掲】

重要業績指標(K P I)	目標値	現状値
区立図書館のサービスに満足している利用者の割合	88%以上を維持	90%